

2016年7月11日 大学図書館長期研修

# 利用者の情報行動

筑波大学図書館情報メディア系 教授

筑波大学附属図書館研究開発室室員

逸村裕(いつむら ひろし)

1. 利用者の情報行動の変容
2. 利用者に関わるさまざまな概念
3. 司書資格における「図書館情報技術論」
4. 学生とソーシャルメディア
5. 学術コミュニケーションにおける情報行動の変容
6. 筑波大学情報学群知識情報・図書館学類での経験
7. 図書館サービスはどう変わっていくのか？

# 最初の質問

- 1.あなたの大学の自慢できることは何ですか？
- 2.あなたの大学の学生数は？
- 3.あなたの大学の学生の授業出席率は？
- 4.学生によるあなたの大学の図書館満足度は？
- 5.あなたの図書館の自慢できることは何ですか？
6. あなたの図書館の閲覧席数は
- 7.学生一人当たりの年貸出冊数は？
- 8.図書館が力を入れている図書館サービスは？
- 9.あなたの図書館に協力的な教員は何人いますか？
- 10.学生が図書館に対して不満に思っていることは？

# (1)大学内での位置づけ

知識/情報は力  
関係情報を入手する  
的確な処理  
実態を把握する  
味方を増やす

# 大学内でのやりとり

図書館のやることってお金かかるよね

でも図書館が言うんだったら  
いいかな

## (2)大学設置基準

大学での学びは「学修」

大学での学びの本質は、講義、演習、実験、  
実習、実技等の授業時間とともに、授業のため  
の事前の準備、事後の展開などの主体的な学  
びに要する時間を内在した「単位制」により形  
成されている

# 1単位は45時間の学修を要する

卒業単位124単位であれば

$124\text{単位} \times 45\text{時間} = 5,580\text{時間}$

一年平均1,395時間

開講期間中、一日平均8時間の学修

## (3)日本の大学生

授業には出席する

授業と学習のバランスは良くない

高校と大学の違いがわからない

ゼミ 卒業研究の比重が高い

能動的な学修？

学修支援が必要



# 一週あたりの授業以外の学習時間

26時間以上	2.4%
21-25	1.9%
16-20	3.2%
11-15	7.3%
6-10	18.4%
1- 5	57.1%
0	9.7%

# 日米比較

26時間以上	2.4%	( 9.5)
21-25	1.9%	( 9.8)
16-20	3.2%	(16.8)
11-15	7.3%	(22.3)
6-10	18.4%	(26.0)
1- 5	57.1%	(15.3)
0	9.7%	( 0.3)

## (4)日本の大学教員

担当コマ数

平均8コマ

設置別・主題別・種類別で多様

# 日本と米国の大学教員比較

## 一週の活動時間

教育	11.5-16.5時間	(24)
研究	18.5-22.5時間	(14)
社会貢献	4.5- 9.0時間	
それ以外	10.0-11.0時間	(11)

## 2. 変容を続ける利用者の情報行動

# (1)利用者とは？



## (2)社会の変化

ユニバーサル化した大学

少子化が迫る

大学の存在意義

科学技術・学術審議会

学術情報委員会

# 教育振興基本計画 2013年6月

## 8-1 改革サイクルの確立と学修支援環境整備

・学長を中心とするチームを構成し、学位授与の方針の下で、体系的な教育課程の編成、組織的な教育の実施、厳格な成績評価、成果の可視化と評価、その結果を踏まえたプログラムの改善・進化を行うという一連の改革サイクルが機能する全学的な教学マネジメントの確立を促進する。

そのため、教学に関する制度の見直しを図るとともに、補助金等の配分に当たっては、例えば、組織的・体系的な教育プログラムの確立など、十分な質を伴った学修時間の実質的な増加・確保をはじめ教学上の改革サイクルの確立や積極的な情報公開への取組状況を参考の一つとする。



その際、ティーチング・アシスタント等の教育サポートスタッフの充実、学生の主体的な学修のベースとなる図書館の機能強化、ICTを活用した双方向型の授業・自修支援や教学システムの整備など、学修環境整備への支援や、基本施策17の学生に対する経済的支援も連動させながら促進する。ICTの活用に関しては、例えば、近年急速に広まりつつある大規模公開オンライン講座（MOOCによる講義）の配信やオープンコースウェア（OCW）による教育内容の発信など、大学の知を世界に開放するとともに大学教育の質の向上にもつながる取組への各大学の積極的な参加を促す。あわせて、学生の思考を引き出す教科書等の教材や教育方法の開発・研究など、教育に関する特色ある自発的な取組を支援する

## (2)社会の変化

学術情報委員会

## (3)情報技術の進展

図書館における情報技術とは何？

「館」に來ない図書館利用者

インターネットはPCよりもスマホ

# 燃焼工学研究室大学院生

上道茜 論文の探し方・読み方

<http://www.slideshare.net/akaneuemichi/ss-19884095>

# (1) デジタルネイティブ

A digital native is a person for whom digital technologies already existed when they were born, and hence has grown up with digital technology such as computers, the Internet, mobile phones and MP3s.

現在の学生は物心ついた時からインターネット、携帯電話、動画、電子情報源を用いた環境にいる、いわゆるデジタルネイティブである。

## (2) デジタルイミグラント (移民)

A digital immigrant is an individual who grew up without digital technology and adopted it later.

成長してから、デジタル技術に習熟したものをデジタルイミグラントと呼ぶことがある。

ソーシャル・メディアやクラウドコンピューティングさらにTwitter、Ustream、LINEと次々に現れる情報通信技術を使いこなす若者を世代論と結びつけて多様な呼び名が存在する。

2000年世代(millennials)、76世代、86世代、デジタルネイティブ第1世代/第2世代、ネオデジタルネイティブ…

### (3) デジタルネイティブの特性

- a. PCリテラシーは高い
- b. 書くのにはPCが便利
- c. インターネット＝PCである
- d. ノートPCは画面が小さくて不便
- e. テレビを話題にしなくなった
- f. 動画とは見るもの

デジタルネイティブの特性として○がつくのは？



# 図書館不安(Library Anxiety)

大学図書館は大きい

どこに何があるかわかんない

使い方が複雑

オリエンテーション受けたけど、よくわからない

レファレンスサービスわかりにくい

こんなこと聞いていいのかな

急いでいるのにー

# 図書館を利用しない/利用する

## 利用しない理由

- 電子ジャーナル、電子ブックで用が足りる
- (貸出すれば)研究室の方が作業環境がいい

## 利用する理由

- 電子化されていない資料の利用
- 館外持ち出し不可の資料を使う作業
- ソファで寝転がって読書(そのまま寝る...?)

# 図書館を利用する2つの理由

## 1 必要に迫られて利用する

- 必要な資料がそこにしかない
- 他に作業をする環境がないetc...

⇒・利用が多い≠良い図書館...？！

## 2 行きたい図書館だから利用する

- 居心地がいい、「なんとなく」行く気になる
- 選択肢の中から選ばれる図書館

⇒・利用が多い＝良い図書館...？！

切り分けの難しさ

# 「図書館情報技術論」

## (1)概要

図書館業務に必要な基礎的な情報技術を修得するために、コンピュータ等の基礎、図書館業務システム、データベース、サーチエンジン、電子資料、コンピュータシステム等について解説し、必要に応じて演習を行う

# 学生とソーシャルメディア

授業中のTwitter利用

Ustream配信

ビブリオバトル

図書館情報学チャンネル

# (1)研究者

## (2)電子ジャーナルのインパクト

図書館に研究者が来なくなった

Research Gate

(3)若手研究者の情報行動は近未来を変える？



## (4) 学術コミュニケーションにもたらされた新技術

ITCに馴染んだ「若い世代」が学術世界の様相を変える？

Article Level Metrics

Altmetrics

(5)Open Access= Access + Reuse

オープンアクセスがビジネスになった時代に

# (6)Data Centric Science

Data Science

Data Curation

図書館は何ができるか？

何をしなくてはならないか？

## (7)電子書籍

米国86%      豪州89%      日本

なぜ日本は遅れているのか  
日本と欧米豪とは二桁の差がある

高等教育を自国語で行える国なのに

Shared Print

DDA Demand-Driven-Acquisition

PDA Patron-Driven-Acquisition

# (1)学生動向

簡便に！

素早く！

学生は忙しい

# 大学一年生の自己評価

情報探索に関する根拠なき自信

レポートを書くことへの不安

CiNiiは知らない

フリーライダー

「文」は書く

長い論理的な文章を書く機会がない

# 文献を探してレポートを書く課題

Tulips (OPAC) の使い方と請求記号等を教える

## 学生のレポート作成手順

1. 検索戦略を考える
2. Tulips (筑波大学OPAC) で検索
3. 図書、雑誌論文、機関リポジトリコンテンツを数件発見
4. オンラインで読めるもの**最初の数件**だけでレポート作成
5. そのことを悪びれずにレポート作成作業手順に記す

## a.教科「情報」

Word Excel Power point HTML

サーチエンジン

メディアリテラシー Webブラウザ

ネット犯罪 情報セキュリティ 情報倫理

メール

HTML

GUIと CUI

著作権 プログラミング

**PCメールを書けない**



# 電子メール

PCから電子メールをどの程度利用しています？

ほぼ毎日	4
週に数回	15
月に数回	20
年に数回	28
現在は利用していない	34

## b. ウィキペディア アマゾン

知らないものを調べる

小説やドラマの設定を調べる

呼吸をするようにGoogleを使う

## (2)ログ分析とアイトラッカーによる実験結果

筑波大学中央図書館を場とした実験

学生と図書館員に同じ探索をしても

らい、違いを調査する

# 書架移動時の学生の視線

- 書架全体を見てから目的の書棚に辿り着く
- 図書を選定する際にはタイトルを見る

# 書架移動時の図書館員の視線

- 書架の一部を見て目的の書棚に辿り着く
- 図書を選定する際には請求記号を見る
- 最後にタイトルの確認と周辺の図書の確認を行う

# 学生と図書館員の比較

- Web上での情報探索時
- 初めて使うサイト
  - 学生 : 不規則に動く
  - 図書館員 : 不規則に動く
- よく利用するサイト
  - 学生 : 規則的に動く
  - 図書館員 : 規則的に動く

# 学生と図書館員の比較

- 図書館での情報探索時
- 図書探索時
  - 学生 : 書架全体を見る
  - 図書館員 : 書架の一部を見る
- 図書の選定時
  - 学生 : タイトルを見る
  - 図書館員 : 請求記号を見る
- 使い慣れている人といない人では視線の動きが異なる

## クローズアップ現代 . 2014年12月10日放映

9月、文化庁が衝撃的な調査結果を発表した。調査した2000人のうちおよそ半数(47.5%)が、「1か月に1冊も本を読まない」と回答したのだ。

勉学に勤しんでいるはずの大学生でも、40%が1日の読書時間が“ゼロ”という別の調査結果もある。.



# 実験の流れ



- 入室
- 準備・装着 この間に説明
- キャリブレーション
- 実験開始
- 終了後インタビュー  
(NHK+先生から)

# (3) 図書館オリエンテーションは有効 なのか？

筑波の調査

# (1) 図書館サービスの在り方

e-learning 機関リポジトリ 情報リテラシ  
ラーニングコモンズ 飲食・・・

今、図書館サービスに何が求められていますか？

## (2) OPACの在り方

なぜOPACはサーチエンジンのように使えないのか？

ディスカバリーサービス

すぐに入手できないフラストレーション

## (3)教育学習との協同

アクティブラーニングって何？

# アクティブラーニング

教員による一方向的な講義形式の教育とは異り、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。

## (3)教育学習との協同

学修

アクティブラーニングって何？

反転学習

シラバス 読んでますか？

カリキュラムとの連動

学生の情報探索行動をもっともよく知っている  
のは図書館員？

## (4)学生の意見を聴く

学生は何を考えているのか ?



## (5)ラーニングコモンズ

目的は？

まとめ

着眼大局  
着手小局